

2016年度在宅医療助成（前期）指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」

包括的食事支援スキルと食事介助

第37回実技セミナー in 瀬峰

（基礎コース）

三浦病院

赤石 節夫

平成28年11月 25日提出

開催概要

開催目的：近年摂食嚥下機能に問題があり、誤嚥のリスクが高い高齢者が増加している。しかし摂食嚥下障害患者に関わる医療者・介護者の食事介助の知識・技術は未だに不足している。口腔ケア・ポジショニングを含め食事介助スキルを習得することにより誤嚥性肺炎発症予防にも繋がると考える。

受講者：宮城県北栗原市・登米市・大崎市の看護師・介護職員・管理栄養士
計35名

開催場所：宮城県立循環器・呼吸器病センター

開催日時：平成28年10月8日（土）13：00～17：00

主催：宮城県立循環器・呼吸器病センター、三浦病院

共催：NPO法人 口から食べる幸せを守る会

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

プログラム：1. 全体講義「KT バランスチャートの実践的活用」
2. 演習①口腔ケア・間接訓練
3. 演習②ポジショニング・ベット上での食事介助
4. 演習③車椅子でのセルフケアの拡大
5. 全体まとめ・質疑応答

研修会終了後の効果：受講者は全て今回のセミナーが初参加であり、これまでの口腔ケア・食事介助は自己流であったため、かなりの意識改革効果があったようでした。職場の同僚にも是非広めていきたいとのことでした。

今後の予定：来年（平成29年）11月開催予定

感想：受講後に上述のような感想を述べた方もいる一方で、受け身的で学習意識が高いと言えないような方もおられました。口腔ケア・食事介助の正しい知識や技術を広めるきっかけにはなったと思われませんが、受講料を無料としたことの弊害ではないかとも思われました。このような実技型のセミナーでは500円でも1000円でもよいので受講料を徴収したほうがよいかと思われました。

* 本セミナーは「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団」の助成により開催されました。

NPO法人 口から食べる幸せを守る会

包括的食支援スキルと食事介助

実技セミナー in 瀬峰

第 37 回実技セミナー受講要領



会期：平成 28 年 10 月 8 日（土）

会場：宮城県立循環器・呼吸器病センター

宮城県栗原市瀬峰根岸 5 5 - 2

主催：三浦病院

宮城県立循環器・呼吸器病センター

共催：NPO 法人 口から食べる幸せを守る会

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

このたびは実技セミナーにご参加いただきありがとうございます。本セミナーにて、皆様が口腔ケア、ポジショニング、食事介助についてのスキルアップを獲得し、口から食べることが困難な方々への実務支援ができるよう関係者一同対応させていただきます。当日効率的で有意義なセミナーとなるようご準備くださいますよう宜しくお願い致します。

第 37 回実技セミナー企画委員

参加者氏名：

連絡先：

<当日連絡先 0228-38-3151（地域係室） 佐々木まで>

～当日の予定表～

12:30～13:00	受付
13:00～13:10	挨拶・オリエンテーション
13:10～14:00	1. 全体講義（50分）バランスチャートの実践的活用
14:00～14:10	移動・演習準備
14:10～14:50	2. 演習①（40分 口腔ケア・間接訓練）各アドバイザー担当
14:50～15:10	3. 演習②（20分 ポジショニング）各アドバイザー担当
15:10～16:00	4. 演習③（50分 ベッド上での食事全介助・一部介助）各アドバイザー担当
16:00～16:10	休憩 10分
16:10～16:30	5. 演習④（20分 車椅子でのセルフケアの拡大）各アドバイザー担当
16:30～16:40	移動
16:40～16:50	6. 全体まとめ・質疑応答 小山先生（10分）
16:50～17:00	アンケート記入
17:00～	解散

～講師・アドバイザー一覧～

<敬称略>

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美 （神奈川）	NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長 JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	看護師 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 KTSM 実技認定者
竹市 美加 （大阪）	NPO法人口から食べる幸せを守る会副理事 日本赤十字広島看護大学 認定教育課程 非常勤講師 ナチュラルスマイル西宮北口歯科	摂食・嚥下障害看護認定看護師 KTSM 実技認定者
一瀬 浩隆 （愛知）	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事 医療法人憲仁会 山谷歯科医院 気仙沼市立本吉病院 一関市国民健康保険藤沢病院	歯科医師 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 KTSM 実技認定者
佐藤さと子 （宮城）	気仙沼市立病院	看護師 KTSM 実技認定者
三束 梨沙 （宮城）	気仙沼市立病院	言語聴覚士 KTSM 実技認定者

熊谷 良弘 (宮城)	社会福祉法人 なかうつみ会 ホーム恵潮苑	特別養護老人 看護師 KTSM 実技認定者
高橋瑞保 (山形)	山形県立中央病院	管理栄養士 KTSM 実技認定者
佐々木美代子 (宮城)	宮城県立循環器・呼吸器病センター	看護師 KTSM 実技認定者

当日の服装および物品準備

・服装について

実技セミナー受講の方は実習室での演習形式となりますので、トレーニングウェアやジャージ等の動きやすい服装（白衣も可）と、室内履き用シューズ（ナースシューズ可）での参加をお願い致します。髪は一つにまとめるかアップしてください。

・各自で持参いただくもの

指定図書「口から食べる幸せをサポートする包括的スキル」医学書院（各自で事前購入して学習をお願いします）

- 実技セミナー参加受講要領
本案内をご持参ください。
- NPO法人「口から食べる幸せを守る会」会員証（会員のみ）
- 室内用シューズ（外履きの靴やサンダルは不可）
- ペンライト
- 時計（秒針付き）
- バスタオル2枚、ハンドタオル1枚、フェイスタオル1枚
- Kスプーンやリードスプーン（持参可能な方）
- パルスオキシメータ（持参可能な方）
- 筆記用具
- 歯ブラシ1本
- 指定図書「口から食べる幸せをサポートする包括的スキル」

—KT バランスチャートの活用と支援— 医学書院

※指定図書事前学習ページ（各自、下記のページを事前学習してきて下さい。）

- 口腔ケア：P74～85
- ポジショニング・シーティング：P48-51、P112-115
- 食事介助・セルフケア拡大：P91～106

2. 実技演習の構成と展開

- ・1ベッドにつき、5～6名のグループに分かれて演習を行います。グループ編成は事務局で決定させていただきます。
- ・グループ毎に担当のアドバイザーを1名配置します。アドバイザーは、当NPO法人による「ベッドサイドスクリーニングおよび食事介助実技認定者」です。スクリーニング評価、食事介助スキルにおけるアドバイスと演習展開のナビゲートを行います。
- ・実技演習（演習①）では、経口摂取に繋げていけるような口腔ケアやポジショニングを学びます。
- ・実技演習（演習②）では、経口摂取に繋げていけるようなポジショニングをします。
- ・実技演習（演習③④）では、セルフケア能力に応じた食事介助方法（全介助、一部介助）について共有します。

3. 参加受付について

- ・受付は12時30分から行います。
- ・受付では、参加証、ストラップ付名前入り名札ケース（以下、名札ケース）をお渡し致します。会場では必ずご着用ください。
- ・名札ケースは、お帰りの際に回収致します。

4. カメラの持込みについて

- ・実技演習においては、グループ内のみカメラ撮影を許可する方向で考えています。なお、グループ単位での演習となりますので、グループメンバー同士の理解と協力を得ながら撮影は行ってください。

5. 会場について

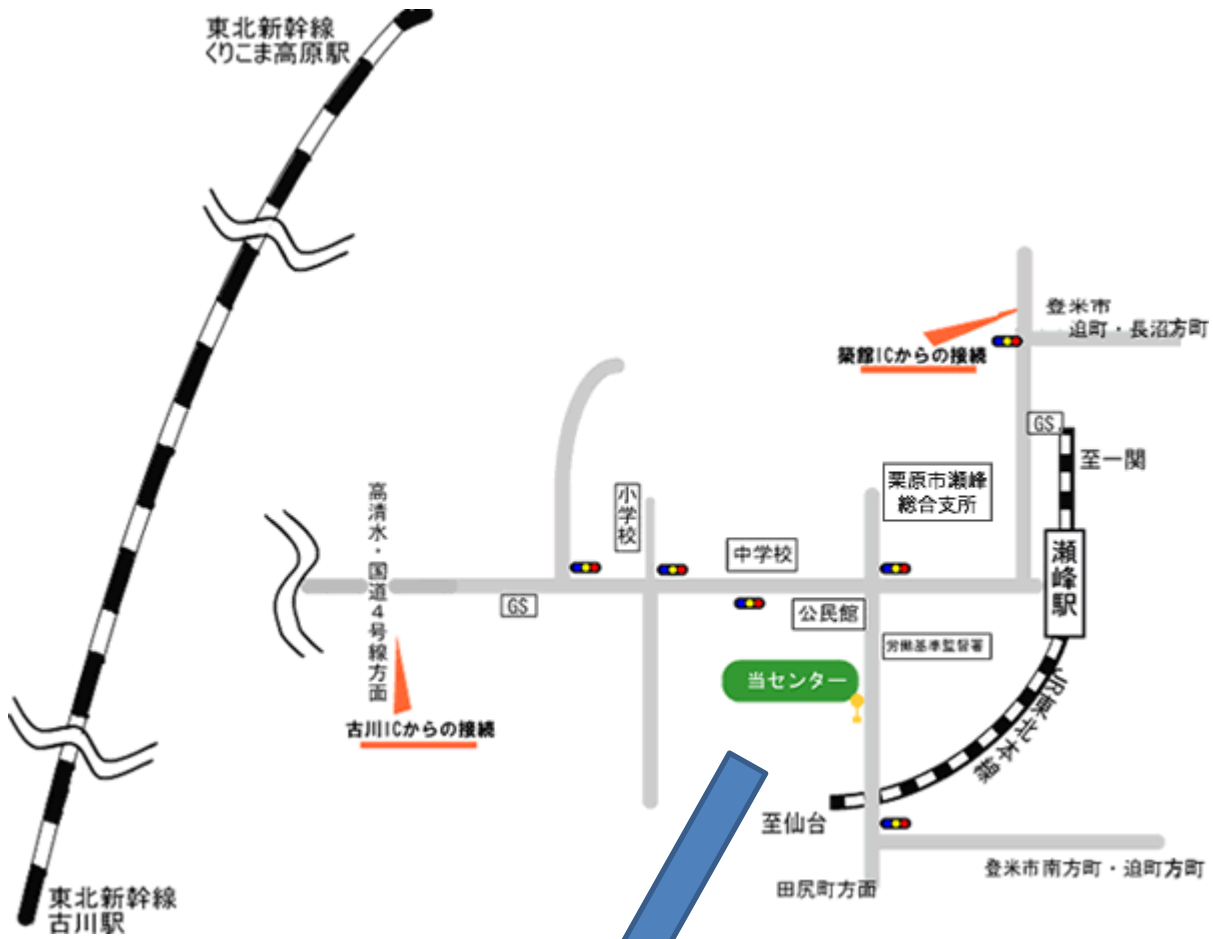
- ・会場は、12時30分よりご利用することができます。

6. その他

- ・実技セミナー会場内では、携帯電話の消音にご協力をお願い致します。
- ・館内は全て禁煙になります。
- ・ゴミ箱は実習で使用した物は分別して所定のゴミ箱に廃棄してください。
- ・会場での呼び出しは行いません。
- ・コピーサービスはございません。
- ・不測の事態が起きた際には、スタッフの指示に従ってください。

7. 会場（アクセス）

- ・最寄り駅：瀬峰駅[出口]から徒歩約7分





全体講義



演習①ポジショニング



演習②口腔ケア



演習④車椅子でのセルフケアの拡大